

臨床研究の情報公開

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	鏡視下肩関節手術での、座位と側臥位の生理学的指標への影響に関する観察研究
研究責任者(所属)	武智健一（麻酔科）
研究期間	2015年7月～2016年6月
研究の対象者	当院で鏡視下肩関節手術を受けた患者
研究の意義・目的	鏡視下肩関節手術は術者の好みにより、座位もしくは側臥位で行われる。座位での稀であるが重篤な合併症として脳梗塞が挙げられ、脳組織酸素飽和度に対する座位の影響が検討されている。しかし側臥位にも気道浮腫や神経障害のリスクが有り、どちらの方法が安全かは依然議論がなされている。座位と側臥位で脳組織酸素飽和度を比較検討した研究では、側臥位と比較し座位で脳組織酸素飽和度が低下したとの報告がなされているが、研究の問題点として側臥位群で腕神経叢ブロックが有意に多く施行されており、術中の麻薬消費量は座位群で多く、それらの影響を除外できていない(1)。当院でも術者の好みによりランダムに座位および側臥位で鏡視下肩関節手術が行われている。そこで、腕神経叢ブロックの使用や、麻酔法(吸入麻酔の使用、オピオイドの種類)を固定し、座位および側臥位での脳酸素組織飽和度、平均血圧、脈拍、昇圧剤の使用等を比較検討し、鏡視下肩関節手術での体位の違いによる生理学的指標への影響を検討する。
研究の方法	観察研究
研究に用いる資料・情報の種類	麻酔記録、看護記録から得た生理学的指標の値
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。
問合せ先	〒974-0006 今治市石井町4丁目5番5号 愛媛県立今治病院 麻酔科 中西 和雄 電話:0898-32-7111(代表)